

議会だより

SHICHIGAHAMA

宮城県七ヶ浜町議会

No.162
2025.1.30

特集 議会報告・懇談会

きちんと届ける しっかり活かす！

補正予算

放課後児童クラブ待機児童解消へ

一般質問

8人が町政を問う



国際村ホールロビー 手すり設置



【町民】

国際村にエレベーターがない。2階リハーサル室の利用が困難。

申し入れ

申し入れはしたもののすぐには実現せず。

【町民】

階段の昇り降りは、高齢者や障がい者にとっては手すりがないと困難である。

再度申し入れ

国際村

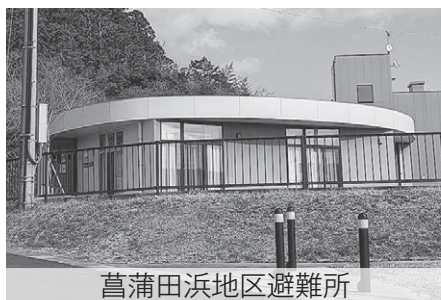
12月会議補正

ホールロビー手すり設置
【20万円】（7割）

地区避難所LED化



遠山地区避難所



菖蒲田浜地区避難所

【町民】

地区避難所の蛍光灯のLED化も含め修繕費用は行政側が負担するべきではないか。

一般質問答弁

大規模な修繕を要する場合は、地区の負担を考慮し、費用負担を協議している。

生涯学習課

12月会議補正

地区避難所照明LED化
【530万円】（7割）

- 湊浜地区避難所
- 松ヶ浜地区避難所
- 菖蒲田浜地区避難所
- 要害・御林地区避難所
- 遠山地区避難所

集 き ち ん と 届 け る 特 し っ か り 活 か す ！

議会報告・懇談会

11月16、17、19、20日に第22回議会報告・懇談会を地区ごとに開催しました。計94名の方々にご参加いただき、ありがとうございました。皆さんからの貴重なご意見・ご要望は議員全員で共有し、班ごとに担当課に対応を確認しました。また、議長から町へ申し入れも行いました。一般質問や各委員会の所管事務調査事項とする場合もあり、解決に向けてチーム議会として動いてまいります。今回は第21回、22回の報告・懇談会でいただいたご意見・ご要望に対しての途中経過や、結果の一部をご紹介します！

防犯灯



〔町民〕

東原の防犯灯は歩道ではなく反対側に設置されている。歩道側に設置をお願いしたい。

申し入れ

防災対策室

歩道に設置するのは難しい。しかし、既に設置されている防犯灯の角度を変えられるので、まずは1基の防犯灯の角度を変えてみた。今後も様子を見て対応する。

防犯カメラ

〔町民〕

自動販売機の設置カメラでは犯罪の抑止力になるとは思えない。主要な交差点にだけでも防犯カメラを設置してほしい。

防災対策室 一般質問答弁

設置候補箇所を検討中。計画作成の段階。

ぐるりんこ



〔町民〕

通勤通学や通院など用途に応じたルート、時刻表を工夫してほしい。

申し入れ& 総務産業常任委員会で調査

9月会議 決算審査特別委員会での答弁

利用者の意向を確認するため、今年度バスの中に意見箱を設置しアンケートを実施している。運行時間に関する要望などがあつた。

〔町民〕

利便性を高めるためにも便数を増やしてほしい。

再度申し入れ

まちづくり振興課

国交省、トヨタ自動車と町が連携し、現状の実態調査をしている。その結果をもとに利便性向上にむけ、考えていきたい。利用していない方々からも意見聴取は必要だと認識しているので、アンケート方法も考えていく。

敬老会



〔町民〕

参加者よりも来賓のほうが多いと感じた。75歳の方は写真撮影があるので来ているが、その他の年齢の方はほぼ来ていなかった。免許を返納している高齢者もいるのでタクシー券を配布する、もしくは各地区で行うなど工夫が必要ではないか。

一般質問答弁

より良い事業とするため、今年度アンケート調査を実施し、対象方法等を検討していきたい。

〔町民〕

個人的に6年度の敬老会は、担当課の工夫が感じられたと評価している。参加人数も増えたように感じた。一方で、国際村までの移動手段は解決しておらず、タクシー代の補助やバスの送迎、各地区での開催なども含め、柔軟な対応をお願いしたい。

申し入れ

長寿社会課

8月～9月対象者にアンケートを取った。自治体で開催しているのは県内4カ所のみである。今後、どの形で開催するのが良いか、引き続き検討していく。

各地区選出の委員

町民：健康推進委員に限らず、地区の役員の高齢化が進んでおり、負担がかなり大きくなっている。また、社協などと役割が重なっているものも多い。費用弁償の部分も含めて、組織を改編する必要があるのでは。

↓ 申し入れ

総務課：地区の大変さは認識している。見直しも考える。精査しなければならないと考える。区長の任期を目標に見直すように努める。

市街化調整区域

町民：市街化調整区域の見直しはどうか。

↓ 申し入れ

企画財政課・建設課：市街化調査区域の建築および建て替えの規制緩和を県に要望している。

役場

町民：七ヶ浜の顔である役場庁舎の老朽化が著しい。建て替えるべきでは。

↓ 一般質問&申し入れ

企画財政課：認識はしている。町内には、他にも老朽化した施設があるため、そちらを優先に考えている。

町民：町職員は、もっと町民の目線で仕事をしてほしい。

↓ 申し入れ

総務課：職員研修等で、より一層スキルアップを図りたい。

デジタル化

町民：町のホームページに各地区のお知らせをつけることはできないか。

↓ 申し入れ

まちづくり振興課：技術的には可能だが、更新に関わる業務や地区ごとに差がつくなどの課題がある。地区のホームページを別に作成し、リンクをつけるなどが妥当ではないかと考える。具体的なお知らせ内容により検討したい。

みんなの声



いたみ ひとみ
伊丹 瞳さん

議会報告・懇談会が開催されていることの認知度が低いと思います。もし分かっていたとしても、地区の行政単位だと子育て世代や若い世代はなかなか参加しづらいので、スポ少の保護者など同じ境遇の人達が集まったの懇談会だと参加しやすいかと思います。

部活動

町民：地域クラブからの参加した生徒も東北大会等参加費補助金の対象にすべきでは。国のガイドラインの「生徒の大会等の参加機会の確保」をよく理解した上で、誠実な対応をお願いしたい。

↓ 一般質問&申し入れ

教育総務課：今後も要綱の趣旨に基づき交付する。

町民：部活動の地域移行については、国のガイドラインに合わせて速やかに準備を進めるべきでは。

↓ 一般質問&申し入れ

教育総務課：来年度の部活動は、本年度同様に進める。



地域の方にも指導してもらってます

トリガイ

町民：トリガイを町の特産品として、希望する飲食店に安価に卸せるようにできないのか。

↓ 一般質問&申し入れ

まちづくり振興課：町民に還元をしたい。希望があれば町内に卸したいが、絶対数が確立されていない。

補聴器

町民：一人暮らしの高齢者宅を訪問する機会が多く、耳が聞こえにくい方が増えている。補聴器の補助は。

↓ 一般質問&申し入れ

健康福祉課：障害者手帳をお持ちの方には、一部助成をしている。手帳をお持ちでない方への補助は今のところ難しい。

アクアリーナ

町民：空調設備の整備となると難しいと思うが、扇風機などを揃えては。

↓ 申し入れ

生涯学習課：利用者の声は把握しており、扇風機の準備をしている。今後の対応は課題として取り上げ検討している。

議会へ

町民

議会報告懇談会で出た意見・要望の議会での取り扱い。また、その回答を過程も含めて明確に記載して欲しい。

回答

いただいた意見や要望は、一般質問等で扱っている。また、議会だよりにすべてを記載するとすると紙面の関係もあり難しいが、今後はとりまとめた内容をホームページに掲載する。

町民

議会報告・懇談会の参加者が毎回、同じ顔触れである。今後の七ヶ浜を考えたときに若い世代の意見は重要。もっと、若い世代にも参加してもらえよう工夫すべきでは。

回答

議会としても危機感を感じている。実施の方法や時間帯も含め、広聴分科会で議論している。ご意見を真摯に受け止めたい。

町民

議会報告・懇談会の参加者が少なすぎる。実施方法を改めるべきでは。

回答

議会としても課題と捉えている。各種団体等と実施するなど、検討を進めている段階で、今後は工夫して実施したい。

町民

議員定数と議員報酬について、議員自身がどうしたいのか、理由を付して議会として、しっかりと発信すべき。アピールが足りないのではないか。

回答

ご意見を真摯に受け止めたい。

町民

欠員が出た時点で、補欠選挙は行われないのか。

回答

本町では、法令上3名の欠員が出ないと補欠選挙が行われない。周知に関しては選挙管理委員会に申し入れる。

町民

前期は12名で出来ていたのではという印象を受けたが、定数の話し合いは。

回答

法令上、補欠選挙にはならなかった。ので、12人でやらざるを得なかった。定数に関しては現在も検討している。

みんなの声



ほし あゆみ 星 歩さん

子どもを家に置いてまで参加することは難しいので、子どもを連れて参加できると良いと思います。議員さんは遠い存在ではなく、みんなの声を届けるプラットフォームだと思えば、身近に感じられるので、ワークショップ形式にした形を変えて開催してほしいです。

その他のご意見・ご要望



議会HP

皆さんからいただいたご意見・ご要望は議会ホームページに掲載しておりますので、是非ご覧ください。

放課後児童クラブ 待機児童解消へ

補正 予算

定例会12月会議を12月3日から4日に開催しました。6年度一般会計補正予算(第4号)では、歳入歳出にそれぞれ1億8239万円を追加し、総額を82億8288万円としました。本議案は原案のとおり可決しました。

■一般会計の主な補正予算項目

歳入(収入)

項目	補正額	理由
子ども・子育て支援交付金 (放課後子ども環境整備事業含む)	国庫補助金 844 万円 県補助金 834 万円	・子育て支援推進事業費等の財源 ・新たに放課後児童クラブを開館するための準備費用
新型コロナウイルス予防接種 健康被害給付負担金へ追加 (国庫支出金)	577 万円	予防接種に伴い、健康被害を受けられた方のうち 国が認定した方に対する給付金に充てるもの
公共施設照明改修事業債	2,890 万円	各公共施設の照明をLED化に改修を行う事業の ための財源
七ヶ浜健康スポーツセンター 改修事業債	4,820 万円	アクアリーナのバーデシステム空調機や、冷凍機など の機械設備改修事業の財源

歳出(支出)

項目	補正額	理由
放課後児童健全育成事業	458 万円	はまぎく・まつかぜ放課後児童クラブの待機児童 解消のための環境整備
システム標準化及び ガバメントクラウド導入等委託料	2,896 万円	・システムサーバや、接続機器等の導入 ・環境構築とガバメントクラウドネットワーク運用 の管理委託
七ヶ浜国際村非常照明灯 及び避難誘導灯改修工事	380 万円	・消防設備の点検結果により不良箇所と報告を受け た避難誘導灯のバッテリー交換 ・誘導灯のLED化工事 ・定期調査により指摘があった非常用照明のLED 化工事
国民健康保険特別会計繰出金	7,000 万円	国保財政安定化支援分
公共施設照明改修事業	2,750 万円	照明のLED化工事 (遠山保育所、農業関連施設、多聞山展望広場公 園トイレ、菖蒲田海水浴場パトロールセンター、 消防車両置場、防災資機材倉庫、地区避難所)
七ヶ浜健康スポーツセンター 機械設備改修工事	6,280 万円	改修工事の委託料や工事費の前払い分

特集

補正予算

議案審議

10月1日
会議

一般質問

委員会リポート
(広報広聴)

委員会リポート
(教育民生)

委員会リポート
(議会活性化)

●放課後児童健全育成事業費 (4500万円)

問 事業目的や内容は。

答 子ども未来課長はまぎくおよび、まつかぜ放課後児童クラブの待機児童の解消を目的に、学校の空き教室等を一時利用するために環境を整備するものである。

●具体的な工事内容は。

答 まつかぜ放課後児童クラブは、松ヶ浜小学校敷地内にある旧分館の内装の改修工事、トイレや玄関入り口の改修水道管布設工事、LED化工事等である。はまぎく放課後児童クラブは、汐見小学校の多目的ホールを活用することから、

そこまでの通路の防犯灯設置工事や、多目的ホールのLED化工事である。

問 汐見小学校の多目的ホールは通常、学校で利用されているが改修の必要はなかったのか。

答 改修はせず放課後児童クラブで使う場合だけ、必要な椅子と机を用意して運営する。

●システム標準化及びガバメントクラウド導入等委託料 (28096万円)

問 事業内容と導入による町民の利便性が向上する点は。

答 デジタル推進室長標準化は、国で定めた20の基幹業務を標準化するものである。どの企業においても同じ規格で使えるようになるもので、8年3月まで導入することが法令化されている。ガバメントクラウドは、国の方で用意している大掛かりなクラウドシステムセクターということであり、現在使用しているクラウドシステムを移行することになる。町民にとつて特に影響はないものである。

庁からガイドラインが示されており、町のセキュリティポリシーと今回計上した運用管理でセキュリティを担保する。

●七ヶ浜国際村ホールロビー手すり設置工事 (20万円)

問 設置にあたり専門家への相談などは。

答 国際村事務局長リハーサル室に行く手前の階段に、国際村の設計者に相談したうえで設置するものである。

●国保特別会計操出金 (7000万円)

問 一般会計から繰り出すことによる財政バランスは。

答 企画財政課長今回計上したものは、国保財政の安定化を図るため財政調整基金を取り崩すものである。財政運営計画はその都度見直しを図っている。国保の財政状況は被保険者数の減少など、他市町村同じ課題を抱えているところであり、国に引き続き財源の確保を要望していく。

●地区避難所照明LED化工事 (530万円)

問 対象地区は。また、今回の工事によりすべての地区避難所がLED化となるのか。

答 生涯学習課長 湊浜や松ヶ浜、菖蒲田浜、要害・御林、遠山地区の5カ所である。今回すべて完了となる。

採決の結果
反対なく全会一致で可決



旧分館整備で安心の受け入れ

特集

補正予算

議案審議

10月・11月
会議

一般質問

委員会レポート
(広報広聴)

委員会レポート
(教育民生)

委員会レポート
(議会活性化)

案議 審議

公民館事業へ民間導入可能へ ～より豊かな学習の場を～

特集

補正予算

議案審議

10月1日
会議

一般質問

委員会リポート
(広報広聴)

委員会リポート
(教育民生)

委員会リポート
(議会活性化)

条例改正

●公民館条例の一部改正
内容

公民館運営の指定管理者による管理を可能とするため、公民館条例の一部を改正するものです。

質疑

問 改正する目的は。

答 生涯学習課長 いろいろな意見を求めながら、より良い施設運営を行うっていくためのもの
である。

問 この条例はすべての公民館事業に適用されるのか。中央公民館だけに限定されるのか。

答 中央公民館および西部地区公民館が該当する。

問 利用料金の作成や改定の手続きはどのよう
に進められるのか。

答 料金設定は、現在の
利用料金を継続する
形で考えている。料金
を変える場合には、住民に

対して、理解を求めながら公表していきたい。当然のことながら、事前に議会に諮ることになる。

討論

反対 歌川 渡

問 民間委託した場合に、利益を優先するあまり、住民負担が増えるような料金が設定される懸念もある。何か基準はあるのか。

答 副町長 指定管理の
全体額でみることに
なるので、利用料金を値
上げしなければ、利益が
出ないという形の指定管
理にはならないと理解し
ている。人件費を必要以
上に削減するなど、住民
に損が出るような契約は
絶対にしない。

問 野外活動センターの
キャンプ場はアクア
ゆめクラブで管理運営し
ている。その他の施設は今
後どのようになるのか。

答 3×3コートやスケ
ートボード場は、中
央公民館と一帯で指定管
理を考えている。

民間の力を活かすこと
で利用者のサービス向上
や費用対効果が得られる
とのことであったが、まず
は意欲のある職員を配置
して事業の向上を図るべ
きではないか。

指定管理者制度を導入
すれば、民間管理者者に
恒久的な委託になり、職
員の知見が蓄積されない
のではないか。

町民の意見や要望が直
接行政に届かなくなる。
他市町を見ても、高上
りの管理委託料になつて
いるところもある。行政
の効果的運営に照らし、
適正な対応とは言えない。
以上のことから反対する。

賛成 仁田 秀和

公民館の管理運営に柔
軟性を持たせ、効果的か
つ効率的なサービスの提
供を可能とするものであ
る。また、教育委員会の責
任範囲や指定管理者が行
う業務の内容が明確に規
定されており、住民サー
ビスの質を担保する仕組
みも整備されている。さ

らに、利用料金は、別表で
掲げる額の範囲内という
明確な規程があり、住民
に過度な負担を強いるこ
とがないよう配慮されて
いる。以上のことから賛
成する。

採決の結果
賛成多数で可決



より良い施設運営に期待

工事変更契約

●令和6年度七ヶ浜縦断線舗装工

追加金額
2084万円

緊急輸送路として、280mの追加施工をするものです。
契約先
東北テレキ工事株式会社

工事区間は松ヶ浜浜林崎の信号機から菖蒲田浜中小塚のガソリンスタンド前までです。
工期
令和7年3月31日



快適な通行が可能に

議員提出議案

●火災リスク軽減と住民安全確保のための七ヶ浜町内スクラップ工場への防火および安全対策強化を求める意見書

内容

町内にあるスクラップ工場では、繰り返し発生する火災およびボヤが発生しており、住民は大きな不安と危機感を抱いています。このような火災は地域の生活環境に重大な影響を及ぼす可能性が高く、住民の生命と健康、さらに地域の安全が脅かされ続けている現状です。住民の安全を確保するために、県に対して意見書を提出するものです。

最後に、いまだ多くの拉致被害者が帰国できておらず、この重大な人権問題を放置することは断じて許されません。北朝鮮による日本人拉致問題の徹底説明および早期全員奪還を図る必要があることから、国に対して意見書を提出するものです。

提出者 仁田 秀和

請願

●来年度(7年度)年金改定では物価の高騰に見合った年金引き上げを求める請願書

内容

今定例会に提出された請願は、教育民生常任委員会に付託されました。(審査結果は10ページ)

請願者

全国年金者組合
宮城県本部

執行委員長 芳賀 芳昭

●北朝鮮による日本人拉致問題の徹底説明及び早期全員奪還を求める意見書

内容

北朝鮮による日本人拉致事件は、今年で47年が経過し、22年前の帰国を

私はこちら判断

定例会12月会議に上程された議案のうち、賛否の分かれた議案を掲載しています。



二次元コードを読み込むと全議案の採決結果一覧を閲覧できます。

議決結果	鈴木 洋市	鈴木 篤	佐藤 信輝	鈴木 博	鈴木 恵子	佐藤 直美	熊谷 明美	佐藤 壮一	遠藤 喜二	岡崎 正憲	歌川 渡	仁田 秀和	安倍 敏彦
可決	○	○	○	○	●	○	○	○	●	○	●	○	—

○賛成 ●反対 ※議長は採決に加わらない。

条例

公民館条例の一部改正

10月 会議

人道的停戦と支援強化を

10月会議を10月25日に開催し、議員提出議案を審議しました。

議員提出議案

●イスラエルとパレスチナにおける人道的停戦と支援の強化を求める意見書

内容

イスラエルとパレスチナの紛争が激化しており、紛争はさらに周辺地域にも広がっています。いかなる理由があっても、民間人を巻き込む武力行使は断じて容認できません。平和的手段で解決することが不可欠であることから、国に対して意見書を提出するものです。

提出者

仁田 秀和
佐藤 直美

採決の結果
賛成多数で可決

特集

補正予算

議案審議

10月1月
会議

一般質問

委員会リポート
(広報広聴)

委員会リポート
(教育民生)

委員会リポート
(議会活性化)

1月 会議

非課税世帯に3万円支給

1月会議を1月7日に開催し、6年度一般会計補正予算や請願の委員会審査結果、議員提出議案を審議しました。

質疑

●物価高騰対応重点支援給付金支援事業
(5278万円)

内容

国の臨時交付金のうち、低所得世帯支援枠等として、6年度住民税非課税世帯に3万円。同世帯の18歳以下の子どもに対して、1人あたり2万円を支給するものです。

問 住所変更や未申請による支給漏れを防ぐためのフォロー策は。

答 長寿社会課長 複数回に渡って広報紙等で周知し再通知も複数回行い、対象者に連絡する。

採決の結果
反対なく全会一致で可決

質疑

●委員会審査結果

12月会議で教育民生常任委員会に付託されまし

た請願第1号「来年度の年金改定では物価の高騰に見合った年金引き上げを求める請願書」を審査し、反対多数で不採択とすべきものと決しました。

討論

反対 仁田 秀和

制度の仕組みが抱えている問題に対して十分な考察がなされておらず、単に物価の高騰分を上回る年金の増額を求める内容に留まっている。より現実的かつ持続可能な対応を求める必要がある。

賛成 歌川 渡

マクロ経済スライドにより、基準年金の減額調整が続くとされている。積立金の有効活用で物価

の上昇を上回る年金額の引き上げをすべきである。

議員提出議案

●持続可能な年金制度を実現するための改定を求める意見書

内容

現行の年金制度設計は、物価上昇が急激に進行する状況では、高齢者の生活を十分に支えるものではない。7年度の年金改定において、ルールの柔軟な見直しや財源確保策の具体化等、将来世代への負担を最小限に抑えつつ、高齢者の生活安定を図ることが求められることから、国に対して意見書を提出するものです。

提出者

仁田 秀和

採決の結果

反対なく全会一致で可決

事業概要				
(1) 対象者要件等について				
No	給付年度	対象者要件	対象世帯 又は 対象者数	支給額
①	R6	令和6年度住民税非課税世帯への給付	1,500世帯	3万円/世帯
②		①に給付対象世帯で18歳以下の子ども1人あたり	250人 (130世帯)	2万円/人
(2) 申請受付期限について 令和7年7月31日まで				
事業の流れ				
1月(町議会) 「物価高騰対応重点支援給付金支給事業」補正予算				
① 低所得者支援等(対象世帯 1,500世帯【予算枠】) 補正予算額 52,779千円(事業費 50,000千円 事務費 2,779千円)				
3月上旬(町)	対象世帯に対する通知			
3月下旬(町)	1回目支給予定(以降、順次支給)			
周知方法				
3月広報、町ホームページ、公式LINE、ぐるりんこで周知				

12月会議では 8 人が質問！！！！



一般質問 町政を問う

特集

補正予算

議案審議

10月・11月
会議

一般質問

委員会リポート
(広報広聴)

委員会リポート
(教育民生)

委員会リポート
(議会活性化)

議員は、町が行う取り組み内容や問題に関し、幅広く質問することができます。これに対し、町は今後の事業の進め方や問題解決のための考え方を答えます。一般質問は、町民の皆さんの声を届け、議員と町当局が話し合う貴重な機会です。

一問一答方式



質問者の一つの質問に対して答弁者が一つずつ答弁をするキャッチボール方式。



事前通告



質問内容は事前通告書として提出。事前通告とは、一般質問する項目を町当局に対してあらかじめ伝えておくための制度。

一般質問の全容

議会だよりに掲載しているものは一部分になります。全部の内容は、数カ月後、ホームページに掲載されます。上の二次元コードからご覧になれます。

一人当たりの質問時間

議員の一人の質問時間が合計で30分まで。
(町当局の答弁時間は含まず。)



佐藤 直美…16ページ

- 教育支援センター月曜日の通所は **教育**
- 図書先生を1人ずつ配置すべき **教育**

熊谷 明美…12ページ

- 認知症支援の拡充を **福祉**

鈴木 洋市…17ページ

- 生涯学習センター今後の運営は **社会教育**
- 防犯対策のさらなる拡充を **防犯**

仁田 秀和 …13ページ

- スポーツ施設の照明LED化は **環境**
- 闇バイト対策の道徳指導を **防犯**

遠藤 喜二…18ページ

- 逍遙に御殿場・御殿崎の活用を **まちづくり**

鈴木 恵子…14ページ

- 漁業従事者の産業安定を **産業**
- 行き届いた心の相談事業を **福祉**

歌川 渡 …19ページ

- 蓮沼苑Cブロックに簡易駐車場を **環境**
- 普通財産の適正な管理運営を **財産管理**

鈴木 篤 …15ページ

- 度重なる火災への対応は **防災**
- 遠山境山コミュニティセンターの **社会教育**
今後は



くまが いあけみ 熊谷 明美

認知症支援の拡充を

町長 サポーター養成講座を通して進めたい

特集

補正予算

議案審議

10月1日
会議

一般質問

委員会リポート
(広報広聴)

委員会リポート
(教育民生)

委員会リポート
(議会活性化)

問 1月に施行された、認知症基本法では、「認知症の人を含めた国民1人1人が、その個性と能力を十分に発揮し、相互に人格と個性を尊重しつつ、支え合いながら共生する活力ある社会」を目的としている。認知症は、2040年には、軽度認知障害を含めると1200万人になるとされている。認知症は誰でもなる可能性があり、支援の拡充が必要である。国が示した認知症基本法に基づいた取り組みは、

答 町長 認知症サポーター養成講座や認知症初期集中支援チーム会議を開催し、早期診断、早期対応に向けた支援をしている。

問 認知症を正しく理解するための認知症サポーター養成講座は、開催回数も増え、町民のサポーターは増えている。生徒を対象とした学校での開催は、

答 教育長 小・中学校は、一定の知識は与えられるが、教育過程としてカリキュラムすると

ころではない。生徒の発達に応じたものを、学級活動の時間等で、取り上げていくことを校長などと話し合いたい。

問 認知症パートナー講座や認知症の方へのケアの技法の一つであるユマニテュード講座、認知症体験会などを開催する考えはないか。

答 町長 気持ちを理解することや接し方を学ぶことは、認知症を正しく理解することにつながる。今後もサポーター養成講座を通して普及啓発を進めたい。

問 認知症パートナーと講座を受講した後、パートナー養成講座を受けたボランティアのことである。認知症の人とその家族に寄り添い、共に歩む伴走者を育成する認知症パートナー講座の開催と講座内容は、

答 長寿社会課長 名称は異なるが、ステップアップ講座開催を考えた。内容は、関係機関と検討したい。

問 若年性認知症の人を対象とした、カフェや軽運動、合唱、手芸工作など、本人が企画運営にも参加できる活動の場や活躍の場の提供は、

答 町長 地域を支える一員として活動できるように、役割や社会参加を進めていく。

問 社会参加の機会として、認知症カフェは必要である。コロナ禍で開催されていなかったが、今後の開催は、

答 認知症グループホームで開催されていたが、2年度から休止している。再開に向けて話し合いを進めている。

問 1カ所だけではなく、複数の会場で内容を工夫し、定期的に開催する考えはないか。

答 長寿社会課長 まずは1カ所所で再開させて、計画を立てながら進めたい。



認知症カフェの早期再開を

問 介護者家族交流会は、介護家族全体を対象としている。しかし、認知症以外の介護家族と、認知症介護家族とでは、抱える問題が少し異なるところもある。認知症介護家族交流会の開催の考えは、

答 家族会は、特に寝たきりや認知症高齢者の人の介護家族で、できるだけ参加しやすい雰囲気をつくり、悩みや不安を気軽に話せる場としている。

問 認知症は新しい治療薬も開発され、早期発見、早期治療で進行を遅らせることが可能になってきていると言われている。早期発見の手段の1つとして、健康診断などの際に、認知症チェックや相談コーナーを設置する考えは、

答 町長 65歳以上の人の心身の衰えがあるかチェックをする基本チェックリストを健康診断通知に同封している。認知症のリスク要因の1つである、生活習慣病予防と早期発見のために健康指導を行っている。



にっただひでかず
仁田秀和

スポーツ施設の照明LED化は

教育長 必要性の有無を含め検討していく

問 現在使用されているメタルハライドランプの既存照明は、エネルギー効率が高く、維持費用が高い。改善に向けた課題と現時点での町の認識は。

答 教育長 現在、夜間照明設備が設置されている屋外スポーツ施設は、野球場や第一スポーツ広場、テニス・フットサルコートであり、その全てがLEDではなく従来型の照明設備となっている。いずれも40年以上経過している状況で、これまで劣化等による修繕工事や機器の交換を行いつつながら維持管理してきたが、LED照明への改修までには至っていない。今後、さらに施設の老朽化が進んでいくことや、蛍光灯の製造と輸出が禁止されている世界情勢などを考慮し、照明のLED化や施設の使用方法の見直しも含めて検討が必要であると認識している。夜間照明の必要性の有無を含め検討していく。



LED化で明るく省エネな環境へ

問 再生可能エネルギーの活用を目的とするような、エネルギー転換の可能性を検討する考えはあるか。

答 再生可能エネルギーの活用に限らず、照明施設の更新は、今後の検討課題である。現在の照明機器の耐用年数や整備費用も含め調査を進めていく。

問 今後の意見聴取の進め方は。

答 アクアゆめクラブの協力などを得ながら進めていきたい。いずれも、町当局との全体的な施設管理上の課題として検討を図っていききたい。

闇バイト対策の道徳指導を 教育長 特化した指導時間を設ける

問 近年、SNSやインターネットを通じて若者が違法な「闇バイト」に勧誘されるケースが全国的に増加している。特殊詐欺や強盗などの深刻な犯罪に巻き込まれるリスクが高まっており、町としても未然防止の対策が急務であると考え、特に教育現場では、危険性を伝える啓発や道徳教育の充実が求められるが、町としての認識や今後の考え方は。

答 教育長 町内の小中学校では、これまでSNSの取り扱い方や情報モラルの指導をしているものの、闇バイト自体の指導はまだ十分ではない。教育委員会としては、本年度に入り、総務省や警察省、消費者庁等で、全世代を対象とした闇バイトに係る指導と啓発を強力に推進していると認識している。児童生徒に闇バイトは犯罪であることを中心に据え、発達段階に

際に応じて加害者にも被害者にもならない指導と、保護者への啓発に取り組みたい。また、高校生は、県高校教育課が全ての公立学校を対象に、令和6年10月21日付で警察庁の指導資料を添えて、少年をアルバイト感覚で犯罪に加担させないための対策を講じている。本町の高校生もそれぞれの高校で指導を受けているものと推察している。

中学校においては闇バイトに特化した知識理解の指導時間を設けるよう指示する。

問 関係機関との連携や相談体制は。

答 学校で起きる諸問題は、SNSの使用が原因で起きていることもあり、発生数と解決困難度が最も高い。連携した相談体制の構築は必須であり、警察や児童相談所、校内の相談体制を含め、町内の全小中学校とも整備している。

問 道徳教育において、闇バイトのような犯罪に関わることに對する倫理的問題や、社会的責任をどのように指導していくのか。

答 闇バイトの未然防止指導は、道徳性や倫理観等、人間性の育成と闇バイト犯罪の仕組みを理解させることが肝要と考えている。これらの観点は、まだ十分に行われていない。校長会を通して道徳教育のみならず、

※その他にもこんな質問をしました。
「農地法改正による本町の農地利用の効率化などの取り組みについて」

特集

補正予算

議案審議

10月・1月
会議

一般質問

委員会リポート
(広報広聴)

委員会リポート
(教育民生)

委員会リポート
(議会活性化)



鈴木 恵子

漁業従事者の産業安定を

町長 声を聴き対応する



仙台中央卸売市場へ初出荷

特集

補正予算

議案審議

10月・1月
会議

一般質問

委員会リポート
(広報広聴)

委員会リポート
(教育民生)

委員会リポート
(議会活性化)

問 アワビ放流事業補助金の目標や指標、事業評価は。

答 町長 目標は、13万個の稚貝確保である。指標は、安定した漁獲を漁協と連携し、事業を継続することである。事業評価は、安定的な産産体制が構築されていないことから、生産方法の見直しと改善を県に要望している。

問 企業の知見を得ながら地域の取り組みを作ることも必要では。

答 新たに専門技術者を雇用するのは難しい。

問 関係各所から「七ヶ浜の漁業を何とかしなくては」と心配している。その思いを共有して次に進むための場を設定する考えは。

答 町長 5年度では生産量拡大のため、飼育用筏を2基増設した。

問 今後の拡大取り組みの見通しは。

答 町長 資源管理型漁業を推進し、作り育てる栽培漁業としてヒラメやホシガレイ、蝦夷アワビなどの種苗生産や中間育成など、放流事業を継続していく。藻場造成事業なども推進したい。

問 健康福祉課長 6年度は若い世代の心の講演会をしている。七ヶ浜中学校においては、6月12日に実施した。向洋中学校においては、今後実施する予定である。また、ゲートキーパー養成講座を実施した。その他各種団体と連携し、自殺対策ネットワーク会議を今後も継続していく。

町長 善処したい

行き届いた心の相談事業を

問 アワビ放流事業は以前、代ヶ崎浜の火力発電所の温排水を利用して養殖を行っていたが、官民連携で養殖事業の検討も有り得るのでは。

答 まちづくり振興課長 新たな種苗養成は考えていない。

問 出荷時期と販路開拓の調査結果は。

答 町長 6月下旬である。今年度は1kg1万円の価値で取引された。また、販路の1つである寿司店では、1貫700円の七ヶ浜産トリガイが数日で完売し、消費者から高い評価を得ている。

問 刺網漁従事者の意見を伺っている。県漁協七ヶ浜支所も含め、要望があれば販路拡大にも全面的に関わっていききたい。

答 まちづくり振興課長 刺網漁従事者の意見を伺っている。県漁協七ヶ浜支所も含め、要望があれば販路拡大にも全面的に関わっていききたい。

問 相談件数が、平成26年度は919件あった。4年度は56件と減少しているが評価は。

答 町長 東日本大震災、被災後3年で被災者や避難生活によるストレスやメンタル面の問題を抱えている方が、4年度と比較し多くいた。

問 自殺対策として町の課題は、子どもや若者へのケアが必要との報告であった。6年度の取り組みは。

答 町長 県漁協七ヶ浜支所より、新鮮な状態を保つこと、衛生面に配慮し水道や水槽が備え付けてある魚市場で販売したいとの意向があった。

問 刺網漁業者の生活基盤の安定への施策は。

答 町長 資源管理型漁業を推進し、作り育てる栽培漁業としてヒラメやホシガレイ、蝦夷アワビなどの種苗生産や中間育成など、放流事業を継続していく。藻場造成事業なども推進したい。

問 今後の拡大取り組みの見通しは。

答 町長 資源管理型漁業を推進し、作り育てる栽培漁業としてヒラメやホシガレイ、蝦夷アワビなどの種苗生産や中間育成など、放流事業を継続していく。藻場造成事業なども推進したい。

問 関係各所から「七ヶ浜の漁業を何とかしなくては」と心配している。その思いを共有して次に進むための場を設定する考えは。

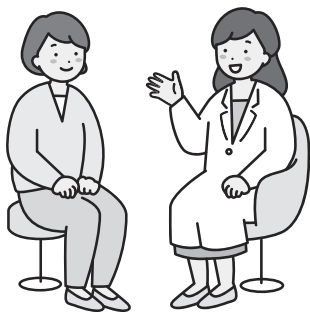
答 町長 5年度では生産量拡大のため、飼育用筏を2基増設した。

問 健康福祉課長 6年度は若い世代の心の講演会をしている。七ヶ浜中学校においては、6月12日に実施した。向洋中学校においては、今後実施する予定である。また、ゲートキーパー養成講座を実施した。その他各種団体と連携し、自殺対策ネットワーク会議を今後も継続していく。

答 町長 東日本大震災、被災後3年で被災者や避難生活によるストレスやメンタル面の問題を抱えている方が、4年度と比較し多くいた。

問 自殺対策として町の課題は、子どもや若者へのケアが必要との報告であった。6年度の取り組みは。

答 町長 県漁協七ヶ浜支所より、新鮮な状態を保つこと、衛生面に配慮し水道や水槽が備え付けてある魚市場で販売したいとの意向があった。



ひとロメモ

「ゲートキーパー」

自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応を図ることが出来る人。



度重なる火災への対応は

町長 関係各所と連携していきたい

問 6年10月6日に、遠山のスクラップ置き場工場で火災が発生し、近隣が騒然となる事態が生じた。当該工場からの出火は、直近2年間で3回目と聞いているが。

答 町長 5年3月3日と、5年6月2日にも火災が発生している。消防署並びに警察署が出火原因を調査したが、出火原因の特定には至らなかった。

問 議会では「再生資源物の屋外保管に関する規制内容を定める宮城県条例の制定を求める意見書」を知事に提出している。町では、地区住民の相談等に対し、どのような対策を取ったのか。

答 塩釜保健所と一緒に現地への立ち入り調査を行い、状況の把握に努めているが、現時点では騒音等も含め、公害に関する違法行為は確認されていない。

問 今後、町としてはどのような対応を考えているのか。

答 火災の発生後消防署から事務所に対して3回ほど指導を行っている。今後も町の安心安全のために、関係各所と連携して対応していきたい。

問 違法行為が認められないなかで、対応が難しいのは理解するが、実際に2回目、3回目の火事が発生したことも事実。もう少し、踏み込んだ対応が必要なのでは。

答 防災対策室長 3回の指導のなかで、電池など火災の原因になり得るものはスクラップ作業の前に取り外してもらうことや、防犯カメラを設置してもらうなど具体的な指導を行っている。

問 本定例会でも、議会から新たに意見書を提出した。町としても、県に対し、今後も強く働きかけるといった認識で問題ないか。

答 町長 それも含めて今後も要望していく。

遠山境山コミュニティセンターの

今後は

教育長 老朽化のため使用禁止となる

問 6年9月定例会の質疑の中で、遠山境山コミュニティセンターは、7年度末で使用禁止の方向との答弁があった。現在の利用状況は。

答 教育長 境山地区のシニアチームと向洋中学校出身の高校生チームが週2回ずつ利用している。

問 現在、利用している町民がいる状況で、使用を禁止するには、相応の緊急かつ合理的な理由が必要と考えるが。

答 生涯学習課長 築49年の建物で、耐震の面から安全性の担保が難しいと判断した。閉鎖時期は、利用者の意見を尊重し、8年3月とした。

問 以前、床の大規模修繕をしたと聞いている。今回は修繕ではなく使用禁止となった理由は。

答 教育長 1994年と2001年に改修工事を行っているが、老朽化が著しいため、使用禁止となる。

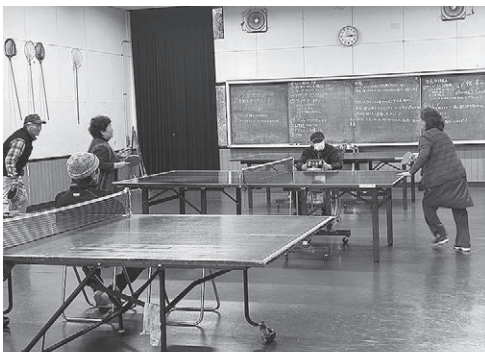
問 解体を視野に入れた見聴取では、利用者としては納得せざるを得ないのでは。

答 副町長 以前に解体の話が持ち上がったが、利用している青少年のために、解体を延期し

た。そのことはご理解いただきたい。

問 現在、卓球で利用されている方々が活動を続けられる環境をどこか別なところで提供することを考える。

答 生涯学習課長 料金の減免が適用されるかは状況によるが、生涯学習センターの軽運動場やアクアリーナの利用をお願いしたい。



卓球を楽しむシニアの皆さん

特集

補正予算

議案審議

10月・11月
会議

一般質問

委員会リポート
(広報広聴)

委員会リポート
(教育民生)

委員会リポート
(議会活性化)



佐藤 直美

教育支援センター 月曜日の通所は

教育長 登校のきっかけとしている



月曜日も登校できる環境へ（いろいろの家）

問

学校教育支援センターは、生涯学習センター2階多目的室の半分を利用して設置されているが、利用者が増え手狭になってきている。また集団の中の生活に困難を感じる子どももあり、落ち着いて静かに過ごせる部屋も必要ではないか。

答

教育長 本年度は小学生的の通所が多く静かな環境を求める生徒や、勉強に集中したい生徒には、日によってにぎやかすぎると感じる実態がある。センターでは、多目的室をパーテーションで仕切ることにより、2部屋の状態を作り、日によって児童生徒の実態に応じた支援を行っている。

問

生涯学習センターの閉館日が月曜日のため、通えない状態であり、欠席扱いになっている。月曜日も通える環境作りが必要だが、以前アイグランド保育園に貸し出していた、いろいろの家などを利用する考えは。

答

月曜日は、登校のきっかけとなるチャレンジデーとしている。月曜日に親子で、夕方に家族で学校に行く練習を促している。現時点では考えていないが、7年度の不登校の状況を見ながら検討したい。

図書先生の先生を 1人ずつ配置すべき

教育長

配置する考えはない

問

図書先生は、小学校2校で1人のため図書館を利用できるのは指定された曜日のみとなっている。好きな時に利用できる状況は改善すべきと考えるが、各校に1人ずつ配置しない理由は。また、今後、各校に1人ずつ配置する考えは。

答

教育長 配置している会計年度事務職員は、図書館の先生ではない。事務職員として学校の図書館の整理などを行っている職員である。現在そのことにより図書館の事務が遅滞している事実はないので、増やす考えはない。

問

必要性の高まりは指摘の通りである。全国の不登校児童生徒数は3年度から5年度で24万人から34万人と増加してしまっただけ、社会問題と認識されつつある。現在、文科省やこども家庭庁、内閣府等、省庁横断で公教育のあり方そのものが論議されているが、当面学校による対応が主であることには変わらない。

答

小中5校ともホームページを立ち上げており、5校のリンクにより学校の実情や子どもの様子が閲覧できる。教育活動の情報提供は十分であると認識している。また、教育行政上の手続きの案内等は、教育総務課に誘導できるよう町のホームページの子育てカテゴリー等でたどり着けるように簡便に作られている。現時点でホームページの作成予定はない。

問

別室登校やステップルームの必要性が高まっており、教員や支援員の配置が必要と思われる。各校から状況を聞き取り、配置する予定は。

問

教育委員会のホームページは他市町村のよくなものが存在しないが、作成する予定は。

ひとロメモ

「ステップルーム」

校内登校支援教室。登校はできたが教室へ入ることが難しい児童生徒が、自分のペースで学ぶことができる居場所。

特集

補正予算

議案審議

10月1日
会議

一般質問

委員会リポート
(広報広聴)

委員会リポート
(教育民生)

委員会リポート
(議会活性化)



すずき よういち
鈴木 洋市

生涯学習センター今後の運営は 教育長 民間の企画力も視野に検討

特集

補正予算

議案審議

10月・1月
会議

一般質問

委員会リポート
(広報広聴)

委員会リポート
(教育民生)

委員会リポート
(議会活性化)



より多世代が学び交流するセンターへ

問 生涯学習センターの利用者層をどのように分析しているのか。また、新たな利用者層の取り込みは。

答 教育長 町内が8割、町外が2割。60歳以上の町民の方々が繰り返し利用されている現状である。利用者を増やす試みとして、6年1月から町外料金を廃止するなど、利用方法の見直しをしている。

問 民間の企画力やノウハウを活用した運営で施設を活性化し、利用者を増加する可能性に対する町の考えは。

答 公共施設の管理において、民間資本や指定管理者制度を広く活用している自治体もある。運営にあたって見直しを行った場合、そのような運営も視野に入れての検討が必要である。民間による管理運営では、効率化や利用者のニーズなどを踏まえた取り組みも期待されるので、幅広く検討していく。

問 利用者の意見収集は、どのように行われてきたのか。また、今後幅広い意見を集めるための新たなアプローチは。

答 運営していく上で、直接利用者からの意見収集を行うような取り組みは実施していなかった。民間事業者や指定管理者などによる運営が行われるようになった際には、民間事業者が持つノウハウや企画力により、より一層町民のニーズに沿った運営が図れるものと考えている。

町長 防犯対策のさらなる拡充を 防犯カメラの設置を検討中

問 生涯学習センターの活用方法の見直しにあたり、具体的にどの部署が連携しているのか。また、どのような体制で検討を進めているのか。

答 現段階では民間による運営等を視野に置いての観点から総務課、施設管理運営面などもあることから企画財政課、また老人福祉センター施

問 見守り自動販売機の増設の考えは。

答 町長 町として増設を望むが、設置箇所はメーカーが主導で行うものである。設置条件に合致する箇所を確認次第、メーカーと協議のうえ増設していきたい。

答 各種防犯カメラの資料収集および設置候補箇所を検討中であり、計画作成の段階である。7年度での設置を考慮し、取り組んでいる。

問 一般家庭における防犯対策に関する費用の一部を助成する考えは。

答 町長 強盗など犯罪が凶悪化しており、各家庭において、防犯対策の必要性が取り沙汰されている。町は一層警察との連携を深めながら、防犯対策に取り組んでいる。一般家庭への費用の助成は、国が防犯対策を強化するという情報もあることから、国や県の今後の動向も注視していきたいと考えている。

問 定点の防犯カメラの設置に向けた検討はされているのか。内容と進捗状況は。

答 防災対策室長 現時点で5カ所を候補として検討している。何台ぐらいを目安に検討しているのか。

しょうよう 逍遙に御殿場・御殿崎の活用を

町長 現時点で考えていない



えんどう よしじ
遠 藤 喜 二

問 伊達政宗公の仮の館としての御殿場とその先の御殿崎(鴻ヶ崎)の荒崎稲荷神社には水戸藩主、水戸光圀公時代に持ち帰った『媽祖』という航海安全の女神の板絵が祀られ、さらに『鰐鮫頭骨』収納箱が納められた、孝子権右衛門の鮫に食われた父親の仇討ちの褒美として伊達七代藩主重村公より作られた箱と石碑があるが、逍遙のまちづくりでの利活用は。

答 町長 招き又を中心と考え、現時点では御殿場や御殿崎は考えていない。

問 『ベネリオン』の狭い走行順路で松ヶ浜の旅館付近から昔の理容店付近まで大型バス等が通れる津波避難道としても使える広い道を造つてはどうか。

答 現在の黒松の植樹は復興事業により現在の道路は管理用道路として使用、基本的に現状変更は認められない。

問 一部10人乗りのバスへの変更の考えは。

答 居住エリアの近くを運行しバス停を設けており、現時点で一部、10人乗りバスの変更は考えていない。



植樹場所



御殿場と御殿崎(鴻ヶ崎)

特集

補正予算

議案審議

10月1日
会議

一般質問

委員会リポート
(広報広聴)

委員会リポート
(教育民生)

委員会リポート
(議会活性化)



うたがわ わたる 町長

蓮沼苑Cブロックに簡易駐車場を

町長 新たに設ける考えはない

問 整備区画(1916)内の未貸出し217区画の貸出済の年度見込みは。

答 町長 年間使用許可区画が10〜15で推移していることから、10年〜15年後を想定している。

問 BおよびCブロックの区画整備予定はいつ頃になるのか。整備は同時か、どちらかの先行整備となるのか。

答 今後の推移を見ながら検討していくことになる。

問 Cブロックの一部に碎石が敷かれている箇所は駐車場として利用しているのか。

答 造成工事車両を止めるため、事業者が設けたもので、駐車場として設けたものではない。

問 DおよびEブロックの参拝者等のため、Cブロックに簡易駐車場設置の考えは。

答 新たに設ける考えはない。

問 モニュメント前広場駐車スペースの安全柵の設置を。

答 駐車場ではないので、安全柵設置の考えはないが、高低差があることから、駐車危険の表示を検討したい。



整備未定のCブロックに駐車場を

普通財産の適正な管理運営を

町長 利用者の状況を

勘案した金額である

問 汐見台地区駐車場管理組合に賃貸物件として「七ヶ浜町汐見台南一丁目54番地内、面積3151㎡」の賃貸料が年間30万円も含め適正な土地賃貸借契約にはなっていない。

答 その1つとして、駐車No.1〜30およびNo.31〜55までの駐車スペースがアスファルト舗装されているが、これらの現状変更は事前の書面により承諾がされたのか。

問 町長 汐見台地区駐車場管理組合との現状変更の承諾書を交わした記録もなく、口頭によるものか、定かではない。

答 汐見台地区駐車場管理組合には、契約解除に伴う現状回復の説明はしているのか。

問 増設されたNo.31〜55分の年度途中の契約車両台数を変更したのか。

答 55台分の契約とする内容を申し入れ、時期も、現在協議している。

問 賃貸料の1台、月額1000円とした算出根拠や基準はあるのか。

答 町の現存する資料には、算出や基準を示すものがないことから不明である。

問 同地番内1㎡あたりの地価額はいくらになるのか。

答 1㎡の地価額は3万2400円で、貸付単価は626.16円。

問 1台、月額1000円の賃貸料は、町営住宅駐車場使用料月額2000円から照らし、妥当な賃貸料か。

答 利用者の状況を勘案した金額と受け止めている。

※その他にもこんな質問をしました。
「七ヶ浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略[2022-2026](第2期総合戦略)の進捗状況について」

特集 補正予算 議案審議

10月・11月 会議

一般質問 委員会リポート (広報広聴)

委員会リポート (教育民生)

委員会リポート (議会活性化)

広報 分科会

特集

補正予算

議案審議

10月1日
会議

一般質問

委員会リポート
(広報広聴)

委員会リポート
(教育民生)

委員会リポート
(議会活性化)

議会だよりの

さらなる向上を目指して

広報分科会では、町民

の皆さんにとつて、さらに親しみやすく、信頼される「議会だより」を発行するため、先進的な取り組みを行っている自治体への視察を実施しました。今回、新潟県聖籠町と栃木県高根沢町を訪問し、それぞれの「議会だより」に関する編集体制や工夫を学びました。

視察の概要

新潟県聖籠町

聖籠町議会の議会だよりは、住民の意見を多く取り入れ、親しみやすい紙面づくりに注力しています。特に以下の点が印象的でした。

●編集体制の整備

編集委員会が主体となり、記事作成や紙面構成の方針を明確にし、統一感のある紙面を作り上げています。

●住民意見の反映

住民の声を積極的に取り入れる仕組みが整っており、多くの記事で住民の意見や関心が反映されています。これにより、住



議会だよりの取り組みを学ぶ
聖籠町

民目線に立った内容が提供されています。

●デザインと視覚的工夫

見出しや写真を効果的に活用し、直感的に情報が伝わるデザインが採用されています。

栃木県高根沢町

高根沢町議会では、住民目線での内容作成を重視しており、さらに住民意見を聴取して記事に反映させる仕組みが整っています。同町の議会だよりで特に注目したのは以下の点です。

●住民意見の取り入れ

住民の声を紙面内容に反映する取り組みが行われており、議会報告だけでなく、住民に関心を持ってもらえるテーマの記事作成にも活かされています。

●親しみやすい構成

読者が情報を見つけやすく、理解しやすい構成で紙面を整理しており、簡潔かつ分かりやすい表現が特徴的です。

今後の検討事項

①住民意見の反映

聖籠町や高根沢町での事例を参考に、住民の意見を紙面に取り入れる仕組みの整備を強化します。これにより、議会と住民をつなぐ効果的な紙面作りを目指します。

②紙面デザインの改善

見出しや写真、レイアウトを工夫し、情報が直感的に伝わるデザインを採用します。読みやすさと親しみやすさの両立を目指します。

③記事内容の多様化

住民生活に関心の高いテーマや議会外の話も取り入れることで、住民にとって価値ある情報を提供します。

今回の視察を通じて、両町のそれぞれの工夫や取り組みから多くの学びを得ました。「議会だより」は、町民の皆さんに議会活動や行政情報を届ける重要なツールです。視察で得た知見を活かし、住民の皆さんに信頼され、親しまれる紙面づくりに努めます。今後とも、ご意見やご協力よろしくお願いたします。



高根沢町

住民参加型の広報を目指して

住民意見をより反映する 議会を目指して

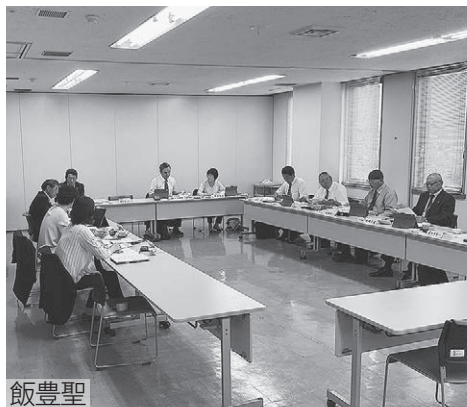
広聴 分科会

広聴分科会では、住民の皆さんの声を議会や政策に、より反映させる取り組みを学ぶため、山形県飯豊町と河北町を訪問しました。それぞれの議会が行う先進的な議会懇談会など意見交換の取り組みは、住民との対話を深める有効な手段として大変参考になりました。

視察の概要

山形県飯豊町

飯豊町では、女性や子どもを対象とした意見交換会や子ども議会の取り組みを学びました。住民の声を直接政策に反映させる仕組みが特徴的です。



飯豊聖

広聴活動の意見交換

●女性との懇談会

町内在住の女性を対象に、日常生活やまちづくりに関する課題を話し合う場を設けています。懇談会では、意見交換を通じて具体的な改善点が共有され、住民の声が行政提案や政策に反映されています。地域コミュニティの強化や、女性の就労支援といった分野で実際に成果を上げています。

●子ども議会

子どもたちが町の仕事や議会の仕組みを学び、自らの意見を発表する場を提供しています。この取り組みは、子どもたちの地域への関心を育てるだけでなく、将来的なリーダー育成の観点でも重要とされています。

山形県河北町

河北町では、住民との直接対話を重視した議会懇談会や高校生議会を学びました。住民の声を施策に反映させる仕組みとして注目しました。

●議会懇談会

議会基本条例に基づき、住民と議員が直接意見を交換する場として「議会懇談会」を定期的に開催しています。過去には産業振興や防災計画など地域に密着した課題をテーマに話し合いが行われ、住民の声が議会活動や政策に反映されています。

●高校生議会

若い世代が町政に参加し、自分たちの意見を町づくりに反映させる場として、高校生議会が実施されています。議会では、高校生が議員からアドバイスを受けながら政策提案を行い、その提案が町の施策に活かされています。この取り組みは、若年層の政治参加を促し、将来的な町のリーダー育成にも寄与しています。

今後の検討事項

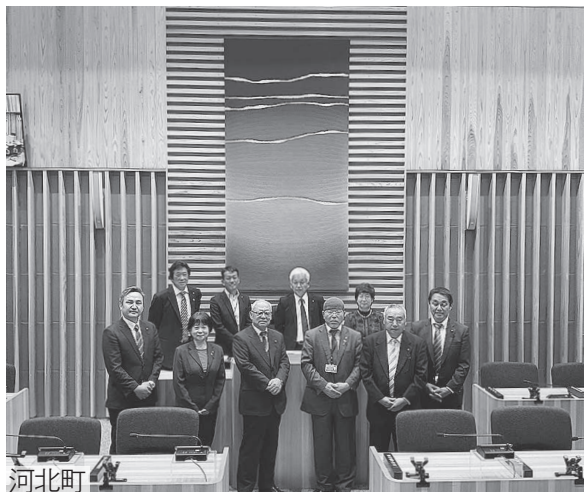
①議会懇談会の充実

河北町の事例を参考に、議会懇談会を実施し、住民や団体と直接意見を交換できる場を設けます。テーマを設定し、住民の声を聞き、政策に反映させる仕組みを整備します。

②若年層の政治参加促進

現在、議会活性化検討特別委員会の子ども議会プロジェクトチームでは、両町のような仕組みを参考に、若い世代が町政に関心を持ち、積極的に与えられる機会の提供を目指しています。これによ

視察で得た知見を活かし、より住民の声を積極的に反映できる議会を目指します。今後とも町民の皆さんのご協力をよろしく願います。



河北町

高校生の声も届いています

教育民生

特集

補正予算

議案審議

10月1日
会議

一般質問

委員会リポート
(広報広聴)

委員会リポート
(教育民生)

委員会リポート
(議会活性化)

●待機児童の現状は

全国的に待機児童は解消されておらず、問題となっています。本町も同様となっております。児童生徒には、必要とする教育や遊び、生活の場を平等に提供することが大切であることから、本町の現状と待機児童解消のための取り組みを子ども未来課から説明を受けたと、質疑応答を行いました。

問 夏季は、急ぎよの対応ができなかった。冬休みや春休みは、電話で希望調整をしていく。

答 空き教室の活用に向けて各小学校で準備を進めているが、進捗状況は。

問 汐見小学校は、セキユリテイ管理や安全面を考えたが学校と調整している。松ヶ浜小学校は、敷地内の旧分館の再開を目指して協議済みであるが、内部の改修が必要である。

問 支援が必要な児童が放課後児童クラブに通う場合、支援や指導員の確保は。

答 放課後デイサービスと併用して利用している。支援員はその状況に応じて対応している。

問 利用を希望する児童の保護者への情報提供や保護者からの意見や要望の収集と対応は。

答 退所届けが出される都度、待機者には連絡をしている。意見や要望の収集は年に一回アンケート調査を実施している。

問 夏季休暇中の待機児童の対応はどのようにしたのか。今後、冬休みや春休みの対応は。

●利府町中央児童センター「へあくる」を視察
4月にオープンし、来館者が11月末で5万人を超え反響が大きい施設です。町外から来る人も多く、月水金を「とふっこデー」として町民専用の利用日を設け工夫しています。館内は遊具を備えた子育て広場や放課後児童クラブ、図書室、学習

室、楽器などが練習できる防音仕様の多目的室など、0歳から18歳まで自由に利用できるようになっていきます。本町には児童センターはありませんが、今後改修を予定の母子健康センターや子育て支援センター、中央公民館などの利活用の参考にしたと思います。



利用の多様化を

●生涯学習センターの今後の運営は

生涯学習センターや老人福祉センター(浜風)の今後の運営や、利用しやすい施設運営に関して、生涯学習課から説明を受けたと、質疑応答を行いました。

問 6年度10月末時点での中央公民館や浜風の利用状況は。

答 中央公民館が16693人、浜風が802人で、ゆるやかに減少している。

問 新たな利用者層の取り込みに向けた施策は。

答 ニースに比べられるよう、また幅広い層に使ってもらえる施設にしたい。

問 浜風のお風呂の利用状況は。

答 利用者数は一日10人程度で、ボイラーの老朽化により、今年度から利用日を週4回から週2回に減らした。

問 町外からの関係人口を増加させる観点からの運営は。

答 今後、視察を行い民間の企画力も注視したいと考えている。

効率的な管理運営計画など、方向性が具体的に定まっていないことから、今後も注視していきます。



思わず探検したくなる遊具がいっぱい

七ヶ浜町議会プレゼンツ

子ども議会
プロジェクトチーム

子ども議会

以前、町でも「ふるさと子どもゆめ議会」が行われていました。
今回は、町議会主催の子ども議会を開催いたします！現在チーム一丸となって開催のために動いています。

Q. 七ヶ浜町議会主催の子ども議会って何？

「子ども議会」は、町内5校の児童生徒の代表が子ども議員として日頃疑問に思っていること、希望や意見、そして七ヶ浜のまちづくりに関して考えていることを、議場で発表する取り組みです。今後、学校側で子ども議員になりたい人を募ってもらい、各学校の代表を決めてもらいます。皆さんの参加をお待ちしています。



Q. 子ども議会の目的は？

一番の目的は、まさに主権者教育です！子どもが声をあげられる環境づくりや、子どもの意見を地域に反映させる環境づくり、防災・減災教育へつなげ、さらに町への誇りの気付きにつなげたいと思っています。そして子どもたちから出た意見を、町に提言していきたいと考えています。

Q. 主権者教育って何？

「国や社会の問題を自分の問題として捉え、自ら考え、自ら判断し、行動していく主権者を育成していくこと」とされています。いわゆる、子どもたちが政治や社会のことに興味を持ち、それを「自分ごと」として考えた上で選挙などに自らの意思や判断で参加する姿勢を養う教育ということです。
※選挙権が18歳になったことにより、学校では選挙や議会のことを社会科で学習します。

Q. いつごろ開催されるの？

夏休み中に開催する予定です。子ども議員の皆さんだけではなく、たくさんの児童生徒の皆さんや保護者の方々、そして町民の皆さんにも議場に足を運び見学してもらいたいと思っています。お待ちしております。



議場でお待ちしています！

目指せ全国大会!

🎤 空手をはじめたきっかけは。

小学1年生の時にオリンピックをテレビで見て、カッコいいなあ〜って思った。お母さんから空手チームなら七ヶ浜にあるよ! 見学行ってみる? って言われて行きました。意外と面白そうで個人競技もいいかな? とって始めました。

🎤 試合の時は緊張しますか? どんな気持ちで試合に臨んでいますか。

試合前は、すごい緊張して、先輩にリラックスするんだよと言われて、コートに出たら緊張が収まるんです。直前まで緊張してるけど、もうやるしかない! て気持ちで、緊張するのやめて試合に勝つぞ! みたいな感じでやります。

🎤 空手をやって学んだことは何ですか。

シーンと静かにしてる中で、試合のとき、大きい声で自分が何の型をやるかって言わなきゃいけないんですけど、大きい声でちゃんと発言するっていうのは自然に身につきました。学校でも、けっこう手を上げて発言して、やりたいやりたい! みたいな感じで積極性が出ました。



🎤 今後の目標は。

去年は東北大会ベスト8で全国大会に出れなかったんで、今年は県大会でベスト4以上になって、東北大会に出て全国大会に出れるようにしたいです。

🎤 最後に町や議会へ要望や意見はありますか。

船に乗るのが好きなので、七ヶ浜から塩釜とか松島とかに定期船で行けるようにして欲しいです。それか、塩釜から出てる船を七ヶ浜にも停まれるようにして欲しいです。あと海の水をもっと綺麗にして欲しいです。

七ヶ浜空手スポーツ少年団に所属している亦楽小学校3年生の武田蔵之介さんにお話を聞きました。空手を始めたきっかけや、七ヶ浜への思いを話してくれました。



【お詫びと訂正】

10月31日発行の「しちがはま議会だより第161号」9ページにて、下記のとおり記事の誤りがありましたので、お詫びして訂正いたします。

会計名	収入	支出	差引額
一般会計	83億3951万円	81億909万円	5億3042万円
介護保険	22億3258万円	19億6701万円	1億3606万円

正)

会計名	収入	支出	差引額
一般会計	86億3951万円	81億909万円	5億3042万円
介護保険	21億307万円	19億6701万円	1億3606万円

〈議会を傍聴しませんか〉

どなたでも自由に、見たり聴いたりできます。

— 3月会議は3月3日開会予定です —

詳しくは議会事務局 (Tel.357-7435)
または、町ホームページ
「七ヶ浜町議会情報」をご覧ください。
<https://www.shichigahama.com>



〈今号の表紙〉



はまかせ太鼓で活動をしている松ヶ浜地区在住の星麻那弥さんです。活動を通し皆さんに感動を届けられるよう頑張っています。

編集後記

新年を迎え、早いもので1ヶ月が過ぎました。寒さも一段と厳しくなる中、いかがお過ごしでしょうか。今年はいんフルエんがが例年より猛威を振るついでです。「手洗い・うがい」を徹底し、健康で過ごしたいですね。



さて、今号はいかがでしたか。特集では皆様のご意見がどのように取り扱われているかをご紹介させていただきます。また紙面もより見やすくするための工夫を取り入れてみました。今後、皆さんに親しみやすく信頼される議会だよりを心掛けてまいります。

発行責任者
副委員長
委員
広報広聴常任委員会

安倍 敏彦
佐藤 直美
鈴木 恵子
佐藤 信輝
鈴木 洋篤
鈴木 明市
熊谷 秀和
仁田 美和

この議会だよりは6700部印刷し、一部当たりの印刷費用は46.99円です。②

七ヶ浜町議会Instagram公式アカウント
←本会議や委員会などの活動情報を発信しています。
Please follow us!

